

平成30年度 第18報 (2月7日)

三重県のり情報

＜発行＞三重県漁業協同組合連合会
指導部

（住所）三重県津市広明町323-1
（Tel）059-228-1205

（HP）<http://www.miegyoren.or.jp/>
＊ネット上で公開しています。「養殖情報ネットワークみえ」のトップページに入力があります。

【海況=6日・栄養塩動向調査結果】

＜水温＞各漁場の水温は7.3～16.4℃です。白子港の水温、比重は平年より高めで推移しています。
＜プランクトン＞現在、全漁場で植物プランクトンが発生しています。今後の動向に十分注意してください。
＜栄養塩類＞栄養塩量は木曽岬、伊曽島（温泉）、城南、松阪は十分量、その他の地区はやや少なく～極端に少なくなっております。
【名古屋港の潮位偏差：毎時偏差速報値（気象庁）】
6日0時～10時現在、潮位図に比べて15cm～19cmで推移しています。

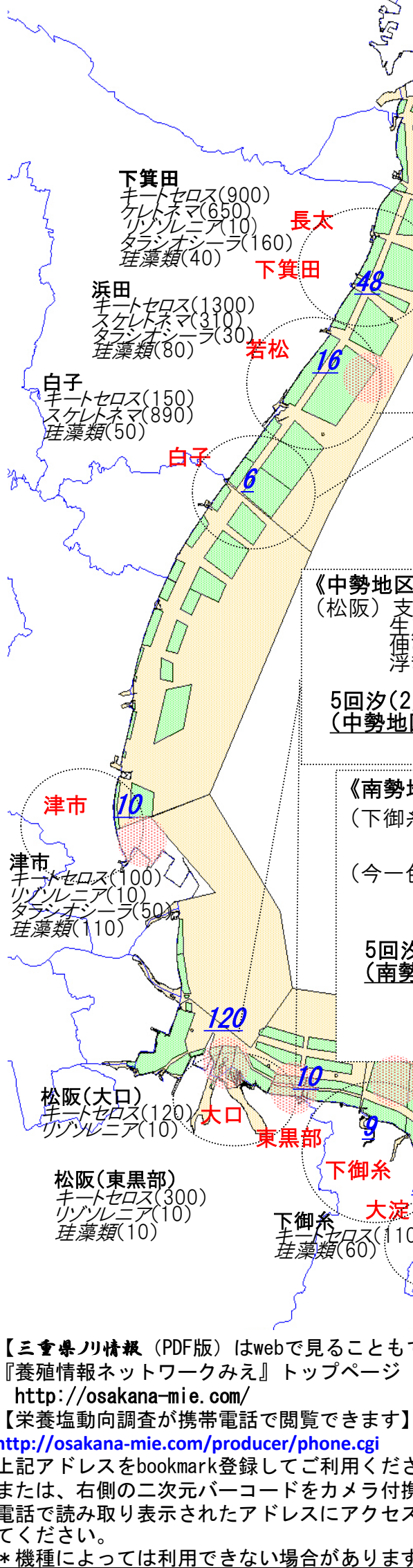
※潮位が高い日が続いております。日々の動向に注意してください。

★情報収集、普及活動、試験分析担当

＜桑名～南勢明和＞津農林水産事務所水産室
(tel)059-223-5132
＜南勢伊勢～鳥羽＞伊勢農林水産事務所水産室
(tel)0596-27-5189
＜鳥羽＞鳥羽市水産研究所
(tel)0599-25-3316
＜試験分析等＞
三重県水産研究所鈴鹿水産研究室
(tel)059-386-0163

☆本紙の無断転用・複写等は固くお断りします。

【お知らせ】
次回の栄養塩動向調査は2月13日(水)です。
＊採水は12日(火)
り情報の発行は2月14日(木)の予定です。



数字は窒素量(DIN)です。[単位: γ]

プランクトン発生状況
()は細胞数 (cells/ml)
(注)正確な発生範囲とは一致しません。

《鈴鹿地区の状況・6日》

(下箕田) 6回目生産中。(500枚/網)
色調の低下が継続している。
(若松) 7回目を生産中であるが、大部分の漁場において色調が低下し、生産を見合わせ中。回復待ち。
(白子)色調が低下し、生産を見合わせ中。
回復待ちの状態が続いている。
5回汐(2/8日)出品数量:下箕田88万枚、若松66万枚、白子23万枚 (鈴鹿地区計 177万枚)
黒ばら海苔:下箕田 2,880 kg

《中勢地区の状況・6日》

(松阪) 支柱漁場は冷凍網張り替えは概ね終了。
生産は週末頃から再開予定。色は少し戻り気味。
伸びは多少回復傾向にある。
浮き流し漁場の生産は、色の回復待ち。
5回汐(2/8)出品数量:中勢第二8万枚、松阪39万枚
(中勢地区計 47万枚)

《南勢地区(伊勢湾漁協)の状況・6日》

(下御糸・大淀) 色落ち回復せず、生産を一時見合わせ。
水の色は若干回復気味。
(今一色) 全体的に極端な色調低下。
このままの状態が継続すると、網揚げの可能性もある。
5回汐(2/8)出品数量:大淀374万枚、今一色189万枚
(南勢地区計 563万枚)

《桑名地区の状況・6日》

(木曽岬)
冷凍3回目生産中。(800枚/網程度)色・伸びともにまずまずであるが、葉体が広がり固くなっている。製品はクモリ、ガサつきがある。
(伊曽島)
主力漁場は引き続き生産に至っておらず、摘採を行わないまま網の撤去が始まっている。製品はクモリ、ガサつきがある。
張替えを行ったところは伸長待ちの状況。
(城南・赤須賀)
3回目生産中。(800～1000枚/網)主力漁場では引き続き生産に至っていない。色は回復してきたものの、製品はクモリ、ガサつきがある。
5回汐(2/8日)出品数量:伊曽島 163万枚 (桑名地区計 163万枚)

この時期の注意点等

先週に引き続き珪藻プランクトンが広範囲で発生しています。今後の栄養塩の動向に注意してください。

6日の調査では、鈴鹿以南で先週に引き続き栄養塩が少ない状態で、珪藻プランクトンもほぼ全域で発生しています。

先週の降雨も一時的なもので、色調の回復には至っておりません。また、水温についても黒潮内側反流の影響により、平年よりも高い状況が継続し、厳しい生産条件となっています。何とか海況が好転してくれることを期待したいところです。

今後、摘採回数が増えてくるとガサつきや穴が増してきます。また、エビ等の混入にも注意して、網管理と製品の選別をしっかり行い、品質向上に努めて下さい。

次回の栄養塩動向調査⇒2月13日(水)

5回汐(2/8)出品数量
2,031万枚(2/7 現在)

《鳥羽地区の状況・6日》

(答志・桃取・菅島)
色落ち継続中。葉の幅も依然細身。
答志の東側漁場で若干回復の兆し。
5回汐(2月8日)出品数量:桃取304万枚、答志374万枚、菅島398万枚
(鳥羽地区計 1,076万枚)

【三重県のり情報 (PDF版) はwebで見ることもできます】
『養殖情報ネットワークみえ』トップページ
<http://osakana-mie.com/>
【栄養塩動向調査が携帯電話で閲覧できます】
<http://osakana-mie.com/producer/phone.cgi>
上記アドレスをbookmark登録してご利用ください。
または、右側の二次元バーコードをカメラ付携帯電話で読み取り表示されたアドレスにアクセスしてください。
＊機種によっては利用できない場合があります。



☆り情報はweb上で閲覧されることをお奨めします。※PDFファイルをご覧になるには、アドビシステムズ社のAdobe Readerが必要です。